



令和6年度 伊勢市立修道小学校経営方針

<建学の精神（校訓）>

人間尊重の精神に徹し、子どもの天性を伸ばし、人格完成の道を修める

—修道—



1 学校教育目標

夢をもって 仲間とともに 未来を切り拓く 子どもの育成

2 めざす子ども像…『夢をもって 仲間とともに 未来を切り拓く 修道の子ども』

- | | |
|----------|---------------------------|
| ◇夢をもって | （自分の将来を思い描いて主体的に学び、表現する子） |
| ◇仲間とともに | （豊かな心を持ち、自他ともに大切にできる子） |
| ◇未来を切り拓く | （心身ともに健康で、粘り強く行動力のある子） |
| ◆修道の子 | （郷土に誇りと愛情を持ち、地域と積極的に関わる子） |

3 めざす学校像…『みんなの思いや願いがかなう 挑戦する学校』

- （1）子どもたちが学ぶ喜びや達成感を実感できる学校
分かる授業・丁寧な字・助け合い高め合う仲間・「未来への分岐点」のしかけ
 - （2）保護者・地域に信頼され愛される学校
確かな学力・豊かな心・安心安全・開かれた学校・相互理解・連携協力
 - （3）教職員が働く喜びを実感できる学校
創造・挑戦・実践・達成感・共感・共有・協働・明るさ・元気・健康
- ※「校支援」・「ボイスワープ」の有効活用による校務の効率化・総勤務時間の縮減

4 めざす教職員像…『まごころをつなぎ合い、高め合う仲間』

- （1）使命感や誇りをもつ 教職員
- （2）子どもへの温かいまなざしや責任感をもつ 教職員
- （3）向上心をもって工夫し学び続ける 教職員
- （4）確かな指導力と豊かな人間性をもつ 教職員
- （5）チームとして支え合い、組織的に取り組む 教職員
- （6）保護者や地域住民の期待に応え、信頼される 教職員



5 具体的な取組

（1）確かな学力の育成

主体的・対話的で深い学びを追究し、「確かな学力」と「未来で生きる力」を育む

- ①どの子も分かる楽しさを実感できる授業の充実 …（授業のユニバーサルデザインの視点）
- ②指導方法の継続的な工夫改善 …（学力調査・検査結果の分析と活用）
- ③個に応じたきめ細かな指導と支援 …（指導と評価の一体化）
- ④授業規律・学習規律の確立 …（授業準備と聞く姿勢・字の濃さ丁寧さ）
- ⑤体験活動の充実 …（「ほんもの」との出合いの企画実行）
- ⑥社会の変化に柔軟に対応した教育の推進
…（情報教育、キャリア教育、国際理解教育、環境教育、平和に関する教育、法教育等）

(2) 豊かな心の育成

かけがえのない生命を尊び、仲間を大切にできる豊かな心を育む

- ①一人一人の願いや思いの丁寧な把握 …(WEBQUの活用、きめ細かな教育相談の実現)
- ②主体性を大切にした児童会活動の実現 …(自分たちで考え工夫して活動する指導)
- ③情報モラル・規範意識の向上 …(互いに嫌な思いをしない・させない生徒指導)
- ④人権教育の充実 …(学んだことを行動につなげる実践的人権学習)
- ⑤特別支援教育の充実 …(個別の指導計画・教育支援計画の適時更新)
- ⑥道徳教育の充実 …(計画的な授業・「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子)
- ⑦読書活動の推進 …(読書量を増やすこと・図書館利用の工夫)
- ⑧地域の教育資源を活用した教育の充実 …(地域の文化財・伝統・人的資源の把握と活用)

(3) 健やかな心と体の育成

生活習慣を確立し、健やかな心と体を育む

- ①健康教育の充実(楽しく学ぶ授業) …(望ましい食習慣・基本的生活習慣の確立)
- ②体育的活動の充実(楽しく学ぶ授業) …(運動量確保・系統的な運動体験・体力向上)
- ③不登校児童を出さないチーム支援の実現 …(連続欠席時の連絡・SC・SSWとの連携)
- ④SCや関係機関、専門機関との連携による教育相談の充実
- ⑤養護教諭・栄養教諭との連携、学校保健委員会の実施による健康教育の充実

(4) 安心・安全な学校づくり

安全で安心な生活を送ることができるよう、未然防止・予測・回避につながる力を育み、家庭・地域と協力してより快適な学校環境づくりに取り組む

- ①全教職員の危機管理意識の向上 …(小さな気付きの即時共有と改善)
- ②防犯・防災・交通安全等の安全教育の充実 …(計画的な指導と最新情報の収集)
- ③家庭や地域等との連携 …(校支援システムの適時活用、発信と共有)
- ④定期的な安全点検の実施 …(通学路や施設の安全管理の徹底)

(5) 家庭・地域等との連携

教育活動について家庭・地域へ積極的に情報を発信し、連携する

- ①学校 HP 更新や学校だより「ハオハオ!」・学年通信・学級通信・保健だより等の発行
- ②児童の育ちを中心にすえた家庭との連携 …(よいことの報告と適時の家庭訪問)
- ③修道まちづくり会・学校安全ボランティアとの連携
- ④地域人材・資源の活用と連携 …(専門的な知識と技能をもった人材の活用)
- ⑤外部講師等の積極的な活用による特色ある教育活動の推進

(6) 教育環境の整備

教育活動を充実させるため、効果的かつ安全で清潔な教育環境の整備・美化に取り組む

- ①全教職員による教育環境の整備 …(古い校舎を工夫して美しく使う心意気)
- ②ICT 機器等の整備と有効活用 …(情報教育担当を中心に積極的に学び合う)
- ③施設設備、備品等の予算要求 …(必要なものを必要な時に整える)

(7) 「チーム シン修道」としての体制の確立

働く仲間の心と体の健康を大切にする

- ①風通しのよい元気な職員室づくり …(つぶやきの共有、互いの理解と尊敬)
- ②月1回以上の定時退校日の実施、時間外勤務時間が月45時間(年間360時間)の上限を超えない職場の実現
- ③年次有給休暇の年間10日以上全員取得